

今朝の聖書から

今週は受難週です。そして金曜日がイエス様の受難日、十字架刑が執行された日ということになります。私たちは過去に何回もイースターを記念しましたが、どのようなものだったでしょうか。信仰を持っていなかった人々にとっては、別に何の意味もなかったでしょう。それでは教会に集っている私たちにとってはどうだったのでしょうか。毎年同じイースター、そんな兄弟はおいでにならないでしょうか。去年とは違うイースターを新鮮に迎えることができますように、受難週を過ごしたいものです。聖書にもあるように、十字架の日は過越の祭りと関係して説明されていますから、歴史的にはユダヤの暦に従って理解するのが正しいでしょう。けれども私たちは週の第一の日を聖日として礼拝を守っています(ユダヤの人々は第七の日を安息日とします)。これはイエス様が復活された日を、すなわち全ての罪に勝利され、私たちに救いの完成をもたらしてくださったことを記念するためです。太陽暦を使っている現代、この日と過越の祭りの関係を毎年計算するのは大変なので、教会は次のようにしています。まず春分の日を調べ、その次にやってくる最初の満月の日の次の日曜日(月の第一主日)をイースターにする、というものです。ですからクリスマスと異なり、毎年違う日にイースターを迎えるわけです。その前の一週間が受難週になります。イースターの三日前の金曜日が“十字架の日”ということになります。英語では **Good Friday** と言われることもあります。なぜ **good** なのでしょう。それは神の子による贖罪の働きが、十字架の上で完成され、私たちがそれによって救いを知ったからです。“主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。”と『ヨハネの第一の手紙』は説明しています。そのために主の苦しみがあったのですから、私たちも、キリストによって新しくされた記念日として、この日を迎えるのです。教会は十字架について、実に沢山のことを語りますが、神の国についても、同じように語らなければ、栄光と勝利についても同じように語らなければ、十字架は苦痛に終わってしまいます。ですから先の **good** という言葉の意味があるのです。

週報

2007年 4月 1日



主の業に励もう コリント15:58

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル商会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸